

2025年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年8月8日

上場会社名 エア・ウォーター株式会社 上場取引所 東・札
 コード番号 4088 URL <https://www.awi.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役会長（氏名）豊田 喜久夫
 問合せ先責任者（役職名）理事 広報・IR推進室長（氏名）植杉 文 (TEL) (06) 6252-3966
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	245,943	6.9	13,939	23.8	14,320	24.5	9,617	30.6	9,363	31.1	26,740	24.0
2024年3月期第1四半期	230,039	2.4	11,263	△13.3	11,501	△9.3	7,362	△13.0	7,141	△11.7	21,563	28.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	41.01	40.98
2024年3月期第1四半期	31.39	31.36

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期第1四半期	1,231,387	523,412	504,012	40.9
2024年3月期	1,222,696	508,485	488,557	40.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	30.00	—	34.00	64.00
2025年3月期	—	—	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	510,000	6.9	33,000	16.3	32,000	15.0	21,000	21.3	91.94
通期	1,100,000	7.4	78,000	14.2	76,000	13.9	50,000	12.7	218.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	229,755,057株	2024年3月期	229,755,057株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,289,874株	2024年3月期	1,529,317株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	228,338,236株	2024年3月期1Q	227,478,311株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
要約四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
要約四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(報告企業)	12
(作成の基礎)	12
(重要性がある会計方針)	12
(セグメント情報等)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 当期の経営成績

当第1四半期連結累計期間における売上収益は2,459億4千3百万円（前年同期比106.9%）、営業利益は139億3千9百万円（同123.8%）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は93億6千3百万円（同131.1%）となりました。

当期間の我が国経済においては、個人消費は物価上昇の影響により足踏みがかかる一方、堅調な企業業績を背景に設備投資は持ち直しの動きがみられました。海外は中東情勢のさらなる緊迫化、欧米各国の金融引き締め政策の継続によって景気下押し圧力がみられ、依然として先行きは不透明な状況が続きました。

このような中、当社グループは、ユニット制を基軸としたグループ一体経営によって、国内既存事業の収益力を強化し、今後の成長領域である海外事業の基盤構築と、社会課題解決に向けたカーボンニュートラルやアグリ関連の取り組みを進めています。

当期間の業績は、これまで実施してきた各種産業ガスの価格マネジメントや事業構造改革が進展したことに加え、成長領域と位置付ける海外での産業ガス、アグリの各分野での取り組みなどが順調に推移し、全てのセグメントで増益となりました。

② 当期の連結セグメント別業績

（単位：百万円）

	売上収益		セグメント利益	
	当期	前期比	当期	前期比
デジタル&インダストリー	78,524	96.1%	6,044	114.0%
エネルギーソリューション	14,741	106.7%	879	132.1%
ヘルス&セーフティー	56,389	108.2%	2,466	102.7%
アグリ&フーズ	42,589	111.2%	1,731	127.8%
その他の事業	53,697	121.9%	2,069	253.7%
（調整額）	—	—%	748	103.2%
合計	245,943	106.9%	13,939	123.8%

（注）セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない当社本社部門の損益に係るものであります。

<デジタル&インダストリー>

当セグメントの売上収益は785億2千4百万円（前年同期比96.1%）、営業利益は60億4千4百万円（同114.0%）となりました。

国内で半導体・デジタル産業における生産拠点の増強が進む中、新規取引先の開拓や大型プラントの設備投資を実行しガス需要の獲得を図るとともに、特殊ケミカルの供給やガス精製装置の販売といったエレクトロニクス関連事業の拡大に取り組みました。また、産業ガスの需要が全般的に弱含みで推移する中、前年度から継続して各種ガスの価格改定や製造・供給体制のさらなる効率化を推進しました。

売上収益は、鉄鋼向けオンサイトガス供給の販売単価が下落したことに加え、機能材料事業における基礎化学品の販売が低調に推移したことにより、産業ガスの価格改定による増収分を打ち消し、前年同期を下回りました。営業利益は、大手半導体工場向けのガス供給が堅調に推移したことに加え、前年度から実施してきた産業ガスの価格マネジメントの効果が発現し、前年同期を上回りました。

＜エネルギーソリューション＞

当セグメントの売上収益は147億4千1百万円（前年同期比106.7%）、営業利益は8億7千9百万円（同132.1%）となりました。

低・脱炭素需要が高まる中、顧客に対して重油からLNGへの燃料転換を積極的に進めたほか、牛ふん尿由来の液化バイオメタンなど、地域の未利用資源を活用したカーボンニュートラルに寄与するエネルギー供給を開始しました。また、北海道を中心とした家庭向けLPガス供給は、IoT技術を活用した配送の効率化や販売店の商権を取得し顧客獲得に努めるなど、収益力の強化に取り組みました。

売上収益は、LPガスが輸入価格に連動し、顧客への販売価格が上昇したことで、前年同期を上回りました。また、LNGの販売数量増も寄与しました。営業利益は、前年同期に計上したLPガスの在庫評価影響がなくなり、増益となりました。

＜ヘルス&セーフティー＞

当セグメントの売上収益は563億8千9百万円（前年同期比108.2%）、営業利益は24億6千6百万円（同102.7%）となりました。

医療用ガスの供給基盤を通じて医療現場のニーズを汲み取り、医療機器の開発、手術室などの病院設備の高度化提案、病院業務のアウトソーシング受託などに注力しました。また、日常のヘルスケアにかかわる在宅医療、デンタル、衛生材料、注射針、エアゾール・化粧品といった、生活者により近い事業の体制強化を進めました。さらに、防災分野では、データセンター向け工事案件の獲得に努めました。

売上収益は、防災分野で、海外と連携したデータセンター向け非常用発電機の工事が進捗したほか、一酸化窒素吸入療法の症例数や介護用シャワー入浴装置の販売が増加したことで、前年同期を上回りました。また、注射針およびエアゾールや化粧品などの受託製造は前年同期並みで推移しました。営業利益は、医療機器や衛生材料など輸入品を中心に原材料価格上昇の影響を受けましたが、医療用ガスを中心とした価格改定の効果が発現し前年同期を上回りました。

＜アグリ&フーズ＞

当セグメントの売上収益は425億8千9百万円（前年同期比111.2%）、営業利益は17億3千1百万円（同127.8%）となりました。

持続可能な農業と食料安定供給システムの実現を見据え、アグリ分野において同業4社での協業体制を構築し、原料調達機能や青果流通・加工におけるプラットフォームの強化を進めました。また、スマート農業技術の向上や物流・加工機能を活かした新たなビジネスモデルを確立するとともに、ライフスタイルの変化や多様な食のニーズに対応した市販用食品の販売に注力しました。

フーズ分野において、食肉などの原材料価格が上昇した影響を受けたものの、冷凍ブロッコリーなどの販売が堅調に推移しました。また、野菜・果実系飲料の受託製造が好調に推移したことに加え、アグリ分野において九州で青果仲卸事業を展開する丸進青果㈱を前連結会計年度に新規連結したことで、売上収益・営業利益ともに前年同期を上回りました。

<その他の事業>

当セグメントの売上収益は536億9千7百万円（前年同期比121.9%）、営業利益は20億6千9百万円（同253.7%）となりました。

物流事業は、一般貨物輸送及び食品物流が堅調に推移したことに加え、受託料金適正化の取り組みを進めたことで、順調に推移しました。

㈱日本海水は、業務用塩の販売量が回復したことに加え、2023年8月に営業運転を開始した苅田バイオマス発電所の稼働が売上収益に貢献し、堅調に推移しました。

電力事業は、小名浜バイオマス発電所が安定稼働を継続し、前年同期並みとなりました。

グローバル&エンジニアリング事業におけるインドでの産業ガス分野は、鉄鋼向けオンサイトガス供給とタンクローリー・シリンダーによるガス供給ともに堅調に推移しました。北米での産業ガス分野は、前連結会計年度に新規連結したガスディストリビューター2社が収益貢献しました。また、高出力UPS（無停電電源装置）分野は、データセンター市場の成長に伴い、堅調に推移しました。

これらの結果、その他の事業は売上収益・営業利益とも前年同期を上回りました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、その他の金融資産の増加などにより前連結会計年度末に比べて86億9千1百万円増加し、1兆2,313億8千7百万円となりました。負債は、営業債務及びその他の債務の減少などにより前連結会計年度末に比べて62億3千5百万円減少し、7,079億7千5百万円となりました。資本は、その他の資本の構成要素の増加などにより前連結会計年度末に比べて149億2千6百万円増加し、5,234億1千2百万円となりました。

なお、1株当たり親会社所有者帰属持分は前連結会計年度の2,140.68円から2,206.08円に増加し、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度の40.0%から40.9%となりました。

当第1四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益及び減価償却費などから法人所得税の支払などを差し引いた結果、前第1四半期連結累計期間に比べ125億9千6百万円収入が増加し、257億2千5百万円の収入となりました。

当第1四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が増加したものの、投資有価証券の取得による支出が減少したことなどにより、前第1四半期連結累計期間に比べ16億7千9百万円支出額が減少し、176億2千万円の支出となりました。

当第1四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、子会社株式の追加取得による支出が増加したことなどにより、前第1四半期連結累計期間に比べ27億5千9百万円支出額が増加し、106億1千2百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期連結会計期間末残高は、前第1四半期連結会計期間末残高に比べ104億5千4百万円増加し、632億4千万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年5月9日発表の業績予想から変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	64,975	63,240
営業債権及びその他の債権	240,584	218,674
棚卸資産	92,643	102,964
その他の金融資産	11,750	12,620
未収法人所得税	2,465	2,288
その他の流動資産	36,953	33,548
流動資産合計	449,372	433,336
非流動資産		
有形固定資産	497,708	506,148
のれん	81,859	85,605
無形資産	46,240	46,883
持分法で会計処理されている投資	34,507	34,490
退職給付に係る資産	5,640	5,528
その他の金融資産	100,621	112,876
繰延税金資産	2,705	2,636
その他の非流動資産	4,038	3,880
非流動資産合計	773,323	798,051
資産合計	1,222,696	1,231,387

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	167,685	161,294
社債及び借入金	85,933	91,917
その他の金融負債	13,865	12,910
未払法人所得税	11,418	5,392
引当金	1,049	1,056
その他の流動負債	37,528	37,957
流動負債合計	317,481	310,529
非流動負債		
社債及び借入金	332,786	331,625
その他の金融負債	22,951	22,225
退職給付に係る負債	6,478	6,450
引当金	3,559	3,723
繰延税金負債	23,845	26,643
その他の非流動負債	7,107	6,778
非流動負債合計	396,729	397,446
負債合計	714,210	707,975
資本		
資本金	55,855	55,855
資本剰余金	49,097	47,953
自己株式	△2,217	△1,850
利益剰余金	335,113	336,696
その他の資本の構成要素	50,707	65,357
親会社の所有者に帰属する持分合計	488,557	504,012
非支配持分	19,927	19,399
資本合計	508,485	523,412
負債及び資本合計	1,222,696	1,231,387

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
継続事業		
売上収益	230,039	245,943
売上原価	△182,188	△193,266
売上総利益	47,851	52,676
販売費及び一般管理費	△37,722	△39,921
その他の収益	1,326	1,392
その他の費用	△723	△754
持分法による投資利益	532	546
営業利益	11,263	13,939
金融収益	1,018	1,593
金融費用	△779	△1,211
税引前四半期利益	11,501	14,320
法人所得税費用	△4,137	△4,701
継続事業からの四半期利益	7,364	9,619
非継続事業		
非継続事業からの四半期利益 (△は損失)	△2	△2
四半期利益	7,362	9,617
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	7,141	9,363
非支配持分	220	253
四半期利益	7,362	9,617
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (△は損失)		
継続事業	31.40円	41.02円
非継続事業	△0.01円	△0.01円
基本的1株当たり四半期利益	31.39円	41.01円
希薄化後1株当たり四半期利益 (△は損失)		
継続事業	31.37円	40.99円
非継続事業	△0.01円	△0.01円
希薄化後1株当たり四半期利益	31.36円	40.98円

要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期利益	7,362	9,617
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する 金融資産の公正価値の純変動	4,174	406
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	10	113
純損益に振り替えられることのない 項目の合計	4,185	520
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	7,361	9,498
キャッシュ・フロー・ヘッジの 公正価値の変動額の有効部分	2,602	6,989
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	53	115
純損益に振り替えられる可能性の ある項目の合計	10,016	16,603
その他の包括利益合計	14,201	17,123
四半期包括利益	21,563	26,740
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	21,273	25,081
非支配持分	290	1,658
四半期包括利益	21,563	26,740

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2023年4月1日残高	55,855	49,962	△3,532	303,680
四半期利益	—	—	—	7,141
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	7,141
自己株式の取得	—	—	△0	—
自己株式の処分	—	—	397	—
配当金	—	—	—	△7,326
株式報酬取引	—	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—
新規連結による増減額	—	—	—	△30
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	99
非支配株主へ付与されたプット・オプション	—	△177	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△177	396	△7,256
2023年6月30日残高	55,855	49,784	△3,135	303,564

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素						合計		
	確定給付制度の再測定	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	キャッシュフロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	新株予約権	合計			
2023年4月1日残高	—	11,427	10,708	1,846	284	24,266	430,232	16,249	446,482
四半期利益	—	—	—	—	—	—	7,141	220	7,362
その他の包括利益	—	7,385	4,165	2,581	—	14,132	14,132	69	14,201
四半期包括利益	—	7,385	4,165	2,581	—	14,132	21,273	290	21,563
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	397	—	397
配当金	—	—	—	—	—	—	△7,326	△279	△7,605
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	—	—	—
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新規連結による増減額	—	—	—	—	—	—	△30	474	443
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△99	—	—	△99	—	—	—
非支配株主へ付与されたプット・オプション	—	—	—	—	—	—	△177	—	△177
非金融資産への振替	—	—	—	△256	—	△256	△256	—	△256
所有者との取引額等合計	—	—	△99	△256	—	△356	△7,394	194	△7,199
2023年6月30日残高	—	18,812	14,773	4,170	284	38,041	444,111	16,735	460,846

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分			
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金
2024年4月1日残高	55,855	49,097	△2,217	335,113
四半期利益	—	—	—	9,363
その他の包括利益	—	—	—	—
四半期包括利益	—	—	—	9,363
自己株式の取得	—	—	△1	—
自己株式の処分	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△7,788
株式報酬取引	—	—	368	—
持分変動に伴う増減額	—	△1,144	—	—
新規連結による増減額	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	—	7
非支配株主へ付与されたプット・オプション	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△1,144	367	△7,780
2024年6月30日残高	55,855	47,953	△1,850	336,696

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分							非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素						合計		
	確定給付制度の再測定	在外営業活動体の換算差額	その他の包括利益を通じて測定する金融資産の公正価値の純変動	キャッシュフロー・ヘッジの公正価値の変動額の有効部分	新株予約権	合計			
2024年4月1日残高	—	25,159	18,253	7,100	193	50,707	488,557	19,927	508,485
四半期利益	—	—	—	—	—	—	9,363	253	9,617
その他の包括利益	—	9,482	532	5,703	—	15,718	15,718	1,405	17,123
四半期包括利益	—	9,482	532	5,703	—	15,718	25,081	1,658	26,740
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	△7,788	△434	△8,222
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	368	—	368
持分変動に伴う増減額	—	—	—	—	—	—	△1,144	△1,477	△2,621
新規連結による増減額	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替	—	—	△7	—	—	△7	—	—	—
非支配株主へ付与されたプット・オプション	—	—	—	—	—	—	—	—	—
非金融資産への振替	—	—	—	△1,061	—	△1,061	△1,061	△275	△1,336
所有者との取引額等合計	—	—	△7	△1,061	—	△1,069	△9,626	△2,187	△11,814
2024年6月30日残高	—	34,641	18,778	11,742	193	65,357	504,012	19,399	523,412

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	11,501	14,320
非継続事業からの税引前四半期利益(△は損失)	△2	△2
減価償却費及び償却費	11,110	12,043
受取利息及び受取配当金	△809	△1,113
支払利息	719	1,120
持分法による投資損益(△は益)	△532	△546
固定資産除売却損益(△は益)	50	△48
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	26,559	22,894
棚卸資産の増減額(△は増加)	△8,433	△9,462
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△18,272	△6,571
契約資産の増減額(△は増加)	2,885	5,336
契約負債の増減額(△は減少)	1,768	2,043
その他	△2,046	△3,816
小計	24,499	36,198
利息の受取額	179	190
配当金の受取額	701	1,074
利息の支払額	△660	△1,074
法人所得税の支払額	△11,590	△10,663
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,129	25,725
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△11,467	△15,869
有形固定資産の売却による収入	134	312
無形資産の取得による支出	△584	△276
投資有価証券の取得による支出	△7,723	△1,890
投資有価証券の売却による収入	181	59
貸付金の回収による収入	156	737
その他	3	△693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△19,299	△17,620
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	3,263	5,012
長期借入れによる収入	319	2,113
長期借入金の返済による支出	△4,014	△3,845
子会社株式の追加取得による支出	—	△4,855
セール・アンド・リースバックによる収入	289	204
リース負債の返済による支出	△1,046	△1,161
配当金の支払額	△6,779	△7,644
非支配持分への配当金の支払額	△279	△434
その他	394	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,853	△10,612
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	706	772
現金及び現金同等物の減少額	△13,317	△1,734
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	157	—
現金及び現金同等物の期首残高	65,944	64,975
現金及び現金同等物の四半期末残高	52,785	63,240

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

エア・ウォーター(株)(以下、「当社」という。)は日本に所在する株式会社であります。当社の登記している本社の住所は、大阪市中央区であります。

当社及び子会社(以下、「当社グループ」という。)の要約四半期連結財務諸表は6月30日を期末日とし、当社グループ並びに当社グループの関連会社及び共同支配の取決めに対する持分により構成されております。

当社グループは、デジタル&インダストリー、エネルギーソリューション、ヘルス&セーフティ、アグリ&フーズ並びにその他の製品・サービスの製造・販売を行っております。各事業の内容については、(セグメント情報等)に記載しております。

(作成の基礎)

(1) 適用される財務報告の枠組み

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第5条第2項(ただし、同基準第5条第5項に定める記載の省略を適用)に準拠して作成しております。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、退職給付に係る負債(資産)及び公正価値で測定する金融商品等を除き、取得原価を基礎として作成しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

要約四半期連結財務諸表は当社の機能通貨である日本円で表示しております。日本円で表示しているすべての財務情報は、百万円未満を切り捨て表示しております。

(4) 重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断

当社グループの要約四半期連結財務諸表の作成において、経営者は、会計方針の適用並びに資産、負債、収益及び費用の報告額に影響を及ぼす判断、見積り及び仮定の設定を行う必要があります。実際の業績はこれらの見積りとは異なる場合があります。

見積り及びその基礎となる仮定は、継続して見直されます。会計上の見積りの変更による影響は、その見積りが変更された会計期間及び影響を受ける将来の会計期間において認識されます。

本要約四半期連結財務諸表における重要な会計上の見積り及び見積りを伴う判断は、2024年3月31日に終了する連結会計年度に係る連結財務諸表と同様であります。

(重要性がある会計方針)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する会計方針は、2024年3月31日に終了する連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様であります。

(セグメント情報等)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは製品・サービス別の事業セグメントから構成されており、報告セグメントを「デジタル&インダストリー」「エネルギーソリューション」「ヘルス&セーフティー」「アグリ&フーズ」「その他の事業」の5区分としております。

「デジタル&インダストリー」は、主に酸素・窒素・アルゴン・炭酸ガス・水素等の産業ガスの製造・販売並びに、電子材料、機能材料等の製造・販売事業を展開しております。

「エネルギーソリューション」は、主にLPガス・灯油の販売及び、LNG関連機器の製造・販売事業を展開しております。

「ヘルス&セーフティー」は、主に酸素等の医療用ガス、歯科材料、衛生材料、注射針、エアゾール製品等の製造・販売並びに、病院設備工事、病院サービス、在宅医療等の事業を展開しております。

「アグリ&フーズ」は、主に青果物の加工・流通及び冷凍食品・食肉加工等の製造・販売並びに清涼飲料水の製造受託等の事業を展開しております。

「その他の事業」は、一般貨物・食品・医療・環境等の物流サービスを展開する物流事業、業務用塩等を製造・販売する(株)日本海水、北米・インドをはじめとした海外における産業ガス事業及び高出力UPS（無停電電源装置）事業、木質バイオマスによる電力事業等から構成しております。

(2) 報告セグメントごとの売上収益及び損益の金額に関する情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。

報告セグメントの利益は営業利益であります。セグメント間の内部売上収益又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	要約四半期 連結損益 計算書 計上額
	デジタル& インダストリー	エネルギー ソリューション	ヘルス& セーフティ	アグリ& フーズ	その他の 事業	計		
売上収益								
外部顧客への 売上収益	81,734	13,821	52,120	38,297	44,064	230,039	—	230,039
セグメント間の 内部売上収益 又は振替高	1,771	1,110	130	177	3,681	6,871	△6,871	—
計	83,506	14,932	52,251	38,475	47,746	236,911	△6,871	230,039
セグメント利益	5,300	665	2,401	1,354	815	10,537	725	11,263
金融収益								1,018
金融費用								△779
税引前四半期利益								11,501

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高の調整額△6,871百万円はセグメント間取引消去であります。
 2 セグメント利益の調整額725百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない当社本社部門の損益に係るものであります。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	要約四半期 連結損益 計算書 計上額
	デジタル& インダストリー	エネルギー ソリューション	ヘルス& セーフティ	アグリ& フーズ	その他の 事業	計		
売上収益								
外部顧客への 売上収益	78,524	14,741	56,389	42,589	53,697	245,943	—	245,943
セグメント間の 内部売上収益 又は振替高	2,276	1,175	132	189	4,306	8,079	△8,079	—
計	80,800	15,916	56,522	42,778	58,004	254,022	△8,079	245,943
セグメント利益	6,044	879	2,466	1,731	2,069	13,190	748	13,939
金融収益								1,593
金融費用								△1,211
税引前四半期利益								14,320

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高の調整額△8,079百万円はセグメント間取引消去であります。
 2 セグメント利益の調整額748百万円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない当社本社部門の損益に係るものであります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。